

## 第 97 回 学長選考・監察会議議事概要

- 1 日 時 令和 6 年 11 月 19 日（火）14 時 50 分～15 時 16 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 三輪委員，伊藤委員，小田委員，佐久間委員，森委員，  
鈴木委員，富田委員，小野寺委員 以上 8 名  
\*オブザーバー：岡監事，赤塚監事

議事に先立ち，議長から，オブザーバーとして，令和 6 年 9 月 1 日付けで監事に就任した岡俊幸監事及び赤塚弘晃監事の紹介があった。

### 4 議事概要の確認

第 96 回学長選考・監察会議議事概要が確認され，承認された。

### 5 議事

#### (1) 学長の業務執行状況の確認について

事務局から，資料 1 に基づき，令和 6 年度に実施する学長の業務執行状況の確認方法等について説明があった後，審議が行われ，原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑応答等)

- ・なし

#### (2) 国立大学法人新潟大学の学長に求められる人物像（資質・能力等）について

事務局から，資料 2 に基づき，前回の本会議以降に各委員から提出された学長に求められる人物像（資質・能力等）に関する意見及び改定案について説明の後，意見交換が行われ，継続審議とされた。

(主な意見及び質疑等)

- ・改定案は，各委員の意見がよくまとめられている。
- ・前回，サクセッションプランについて提案したのは，研究職，教育職から，突然何も経験がないまま大学全体の管理運営に関わるのは難しく，学長は，ある程度の経験を積んだ者をそれなりの手順を踏んで選考し，継続的にみていくべき，という考えからである。業務執行状況の確認時の学長との面談において，現在のサクセッションプランにおける複数名の後継者候補が担っている役割やその評価等を確認するようなプロセスを入れた方が，より良い学長が選べるのではないか。

- 民間企業では後継者育成計画が重視されているが、改定案の5つの項目の中にその観点は含まれていると考える。本会議が、選考プロセスの公平性、透明性を意識して運営するとともに、業務執行状況の確認時の学長との面談等を通じて確認していけばよいと思われる。
- 項目5の「公平かつ透明性のある方法で育成する能力」は、何を育成するのか曖昧なので、文章を整理した方がよいのではないかと。